2025　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	看護と人間工学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	1年生教室
担 当 教 員	足利 裕人	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

身体の諸器官のはたらきに関連した項目を中心とする物理学の原理や法則を教授する。看護の基礎となる筋肉による力や重心、運動などとの関係、目、耳等の感覚器官の役割等を理解することで、看護への寄与を果たす。

《成績評価の方法と基準》

定期試験により評価(100%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:足利 裕人「歴史でまなぶ物理学入門」ふくろう出版
参考書:高等学校物理教科書

《授業外における学習方法》

講義前に教科書、プリントを読み、プリントの復習をする。

《履修に当たっての留意点》

講義内容をまとめたプリントを事前配布するので、予習・復習に活用すること

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の基盤となる人間工学的な身体の動作や諸機関の働きについて、基本的な物理学の知識を身につける。 人体を含む自然界の物理法則を理解し、看護における問題解決に役立つ能力を身につける。	教科書	事前学習 教科書を読む 事後学習 力学プリント①前半の復習
		各コマにおける授業予定	物理量の扱い、物理の大法則について		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の基盤となる人間工学的な身体の動作や諸機関の働きについて、基本的な物理学の知識を身につける。 人体を含む自然界の物理法則を理解し、看護における問題解決に役立つ能力を身につける。	教科書	事前学習 力学プリント①後半の予習 事後学習 力学プリント①後半の復習
		各コマにおける授業予定	力の性質、力のつり合いと力のモーメントについて		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の基盤となる人間工学的な身体の動作や諸機関の働きについて、基本的な物理学の知識を身につける。 人体を含む自然界の物理法則を理解し、看護における問題解決に役立つ能力を身につける。	教科書	事前学習 力学プリント②の予習 事後学習 力学プリント②の復習
		各コマにおける授業予定	運動と力、運動方程式について		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の基盤となる人間工学的な身体の動作や諸機関の働きについて、基本的な物理学の知識を身につける。 人体を含む自然界の物理法則を理解し、看護における問題解決に役立つ能力を身につける。	教科書	事前学習 熱学プリント③の予習 事後学習 熱学プリント③の復習
		各コマにおける授業予定	熱と温度、熱と仕事について		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の基盤となる人間工学的な身体の動作や諸機関の働きについて、基本的な物理学の知識を身につける。 人体を含む自然界の物理法則を理解し、看護における問題解決に役立つ能力を身につける。	教科書	事前学習 音プリント④の予習 事後学習 音プリント④の復習
		各コマにおける授業予定	音と聴覚のしくみについて		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の基盤となる人間工学的な身体の動作や諸機関の働きについて、基本的な物理学の知識を身につける。 人体を含む自然界の物理法則を理解し、看護における問題解決に役立つ能力を身につける。	教科書	事前学習 光プリント⑤の予習 事後学習 光プリント⑤の復習
		各コマにおける授業予定	光と眼球の働きについて		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の基盤となる人間工学的な身体の動作や諸機関の働きについて、基本的な物理学の知識を身につける。 人体を含む自然界の物理法則を理解し、看護における問題解決に役立つ能力を身につける。	教科書	事前学習 電磁気プリント⑥の予習 事後学習 電磁気プリント⑥の復習
		各コマにおける授業予定	電気と磁気、電磁波について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護の基盤となる人間工学的な身体の動作や諸機関の働きについて、基本的な物理学の知識を身につける。 人体を含む自然界の物理法則を理解し、看護における問題解決に役立つ能力を身につける。	教科書	事前学習 放射線プリント⑦の予習 事後学習 放射線プリント⑦の復習
		各コマにおける授業予定	放射線の種類と内部被ばくを避ける3原則について		